

Dance with Heart  
The Kikunokai Troupe  
We are burning with enthusiasm  
in creating national art for the new era.  
Chairperson Michiyo Hata

# 日本のおどり

発行: 舞踊集団 菊の会  
〒161-0031  
東京都新宿区西落合2-21-23  
03-5983-6001(代表)  
菊の会京都八瀬研修所  
〒601-1254  
京都市左京区八瀬野瀬町10  
075-712-8701(代表)  
<http://www.kikunokai.co.jp>

Dancing from the heart



〔寒牡丹〕より

## ご挨拶

皆様には御機嫌麗しくお過ごしのことと存じます。お蔭様で、今年度の文化庁国際芸術交流支援事業として、マダガスカル諸国の公演より無事帰国する事ができました。誠に有難うございました。出発前には、友の会の懇親会、パーティーや、出発記念公演を開催致しましたところ、埼玉県入間市におきましても、又葛飾区におきましても、千葉県米町におきましても、力強い御支援を各地頂き、その勢いは初日のモロッコのラバト、カサブランカ、そしてチュニジア、アルジェリアと益々勢いをつけ、公演メンバーも一段成長した様に思われる姿で帰国致しました。この五十四号は、その記念の「日本のおどり」として皆様にお届けさせていただきます。我田引水の所もあるうかと存じますが、御報告にかえさせていただきます。何卒宜しくお願い申し上げます。誠に有難うございました。

尾上菊乃里こと  
畑道代

## 日の昇る国・日本から 日の沈む国・マダガスカル諸国へ

菊の会マダガスカル諸国公演  
団長 原 聡



「菊の会マダガスカル諸国公演結団式」畑代表(中央)原聡団長(中央右)

この度、平成18年度文化庁国際芸術交流支援事業の一環として、6月16日から7月5日までの20日間、出演者20名、スタッフ11名による一行でモロッコ(ラバト市・カサブランカ市)、チュニジア(チュニス市)、アルジェリア(アルジェ市)の3ヶ国4都市5公演を行い、全員元気に無事帰国する事ができました。心配していた暑さも日本と違って爽やかで、朝夕は過ごしやすいくほどでした。3ヶ国それぞれに趣の違った美しく素敵で、人の心がなんとビュアな国だろうというのが全員の感想でした。この度の公演では在モロッコ特命全権大使日向精義様、在チュニジア特命全権大使小野安昭様、在アルジェリア特命全権大使清水訓夫様のご尽力をはじめ、各大使館職員の皆様の献身的なサポートを頂き、そのほか沢山の方々のご支援によって、全て滞りなく盛会裡に終了できました。事は、言葉に尽くせぬ感謝の

思いで一杯です。モロッコでは、モロッコ日本友好協会アブデラティフ・ゲラウイ会長のご後援を頂き、チュニジアでは、モハメド・カンヌーシ首相ご夫妻や又、アルジェリアではハリダ・トゥミ文化大臣などそのほか、それぞれの国の政府高官、各国大使などのご来賓が多数ご出席くださり、老若男女、子供さんの姿も見えて客席は、はじめて見る日本のおどりに全会場すべて満席で、スタンディングオベーションによるカーテンコールは3回4回と続き、これまでとは雰囲気の違い、これまでもと雲間気の違い、大興奮の感動のフィナーレでした。各地元メディアにも大きく報じられ、狂言舞踊「釣女」では大爆笑と日本で演じるのと同じくらいの反応で驚きました。「先端テクノロジ」のイメージをもった日本にこんなにもユーモアのセンスがあるのか」との評価は嬉しいものでした。また「女性の三番叟の美しさ、男性の石橋の勇壮さ」、「太鼓や民族舞踊の心に迫る郷愁」など、国の違い、人種の違いを超えた真っ直ぐで、暖かな評価も大変有難く、距離的には遠いマダガスカル諸国の方々には日本の美と日本のこころが通じ合えたことが、誠に嬉しい感動でありました。終演後のロビーでのレセプションにはカタコトの日本語で話しかけてくださる方も多く、日本に大変好感を持ってくださっているのが分かりました。またひとつ心に残る思い出と共に菊の会が舞踊の創造活動を通じて、少しでも世界への文化交流の一助ともなりうるために、公演メンバー全員が更なる努力と精進を、心に決めた公演でありました。最後に本公演にご尽力くださいました全ての方々から感謝と御礼を申し上げます。誠に有難うございました。



# 「菊の会」の皆様のご努力に感謝申し上げます



在モロッコ  
日本国大使館  
特命全権大使

## 日向 精義

Seigi Hinata

第一にモロッコ公演は大成功でした。長年当館にて文化事業を補佐してきたモロッコ人の現地スタッフも「今モロッコで開催された日本文化の公演としてはトップレベルであり、これ以上のものは見たことがない。」と現場で率直な感想を述べていました。小生も、二年前にモロッコに日本の大使として着任し、この間に数多くの日本の伝統文化の公演に立ち会って来ましたが、大体において、モロッコ人の観客の反応は控えめだと感じていましたので、今回の菊の会の公演の幕間の反応、更には公演全体の終了後のスタンディング・オベーション



ラバト公演終了後、日向大使を囲んでの会食会に招待を受けた菊の会メンバー

が数分続く熱狂的な反応には感銘しました。日本にいると、なかなかわからないことですが、長い文化の歴史を有するモロッコ文化からこそ、菊の会の伝統舞踊に対する感度もこれだけ高かったのではないかと感じます。第二に御報告したいことは、今回のモロッコ公演については、文化庁からの支援があつて実現したわけですが、モロッコ国内の経費については、例えば、舞台の照明・音響機材等の演出効果を高める経費については、不足していたので、小生よりカサブランカにあるモロッコ・日本友好協会に働きかけて、同協会

の参加のモロッコ企業のスポンサーを獲得することが出来たこと、その甲斐あって当地ラバトのモハメッド五世劇場及びカサブランカにおける公演は見事な舞台装置で実現することが出来、モロッコ人観客の反応が良かったことの一因につながったと言えます。最後になりましたが、私ども在モロッコ大使館一同、菊の会の皆様方のご努力に感謝申し上げますとともに、一緒に日本の伝統文化の紹介に貢献できたことを大変光栄に思っておりますことをお伝えして御報告とさせていただきます。



取材入り和太鼓の演奏、大勢の市民が集まった



演奏終了、大勢のチュニス市民と撮影会

## 国際芸術交流支援事業

# ジェリア公演が盛大に開催！

### したご来賓の方々のメッセージをご紹介します

#### チュニジア モハメッド・ガンヌーシ首相夫妻

『菊の会の公演を家内とともにこころまにしておりました。普段は劇場にゆくような時間がまったくないですが、今日は特別ですべてのスケジュールをはずして駆けつけることが出来て本当によかったです。日本の舞踊に関してはいろいろ聞いておりましたが、このような優雅でかつダイナミックな舞踊は初めてです。チュニスで一回だけの公演は少ないので、2回でも3回でもやってほしかったです。皆様のご検討をお祈りしております。』  
(チュニス市立劇場於)



日本モロッコ友好協会会長のゲラウイ氏(左)の絶大なる応援を頂いたモロッコ、カサブランカ・ラバト公演、右側はモロッコの日向大使

#### 日本モロッコ友好協会会長 ゲラウイ氏ご夫妻(元モロッコ政府大臣)

『日本との関係は外交関係50周年ではあるが、実際はその前から日本とは特別に友好関係があり、幾多の先人が往來をしてきた、菊の会のモロッコ公演をサポートするためにわれわれは自主的にモロッコ経済界で活躍する経営者に連絡をとりましたが、予想以上の好意がありました。少しでもお役にたてば幸いであり、菊の会をお迎えできることは光栄であります。』  
(モロッコ ラバト国立モハメッド5世劇場於)

#### ライラ・ベナイッサ 外務大臣夫人

『詩のような素晴らしい菊の会の公演に感謝します。とくに最初の5人の女性のおどりはエレガンスであり、洗練されていて印象的です。日本の女性の美しさ、着物のエレガントさ、絵のような世界です。色彩が豊かでした。また日本の伝統や歴史を大切にする皆様のすがたに感動しました。』  
(モロッコ ラバト国立モハメッド5世劇場於)



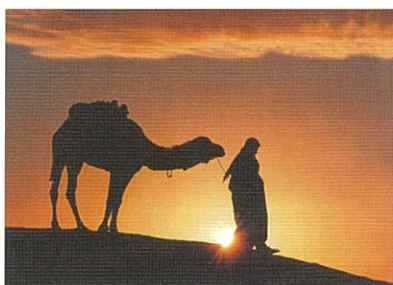
使館の皆様と共に、全ての公演の無事故、大成功を祝う



調印式に於いてアルジェリアのハリダ・トゥミ文化大臣より、菊の会公演の大成功と舞台の感動の模様を伺う

#### トゥーリア・セカット劇場支配人 モハメッド エロク氏

『最初にこのような菊の会を創設された畑代表におめでとうと申し上げたい。皆様の後ろに偉大な女性がいることを深く感じます。また舞台関係のスタッフの技術の確かさ、まじめな仕事に敬意を表したい。困難な状況のなかでもここまで舞台をつかったことに驚きを感じています、全員のチームワークのよさ、それが菊の会の力であると思いました。』  
(モロッコ カサブランカ、トゥーリア・セカット劇場)



マグレブ諸国 チュニジアの夕日 サハラ砂漠



# 舞踊集団「菊の会」の皆様へ



在チュニジア  
日本国大使館  
特命全権大使

## 小野安昭

Yasuaki Ono

この度、日本・チュニジア  
外交関係樹立50周年行事の一  
環として、舞踊集団「菊の会」  
の31名の方々によるチュニジ  
ア公演が成功裏に行われ、チ  
ュニジアの人々に大きな反響  
と日本の伝統舞踊に対する強  
い関心を生みました。  
御訪問された6月下旬のチュ  
ニジアは、例年にも増して、  
連日40度を超える酷暑が来襲  
し、かつ、冷房設備のない会  
場で準備作業と公演が行われ  
たため、準備、公演及び集客  
の面において種々の懸念があ  
りました。しかし、技術スタ  
ッフや出演者の方々の強い心  
意と事前の準備、さらには

急遽公演当日に会場前で実施  
したデモンストレーションな  
どの効果とも相俟って、10  
00席を越える会場は、老若  
男女の方々で埋めつくされま  
した。  
優雅かつ美しい舞踊にはじま  
り、勇壮な踊り、コミカルな  
狂言舞踊、熱気の伝わる和太  
鼓演奏等と多岐に渡った舞踊  
は、会場の厳しい暑暑が客に  
もかかわらず、多数の観客の  
心を捉えて離さないものでし  
た。公演の直後は勿論のこと  
、今現在でも多くの方々から非  
常に印象深い公演であった、  
日本の文化の深さを知ること  
が出来た等の賛辞が寄せられ

ています。今回の公演は、  
我が国の舞踊文化に接する機  
会がほとんどないチュニジア  
の人々にとって、高い水準で  
日本伝統文化を理解する非常  
に良い機会になったものと確  
信しております。特に、御来  
賓には、このような機会には  
ほとんど参加されることとな  
り、今更には、是非一度、改め  
てチュニジアを御訪問頂きたい  
と願っております。最後に  
、我が国と世界を結ぶ文化  
外交の担い手として、今後と  
も世界各地において一層御活  
躍されますことを心から祈念  
いたします。



小野大使ご夫妻と大使館の皆様との暖かいおもてなしを受け、心と心  
を繋いだ菊の会メンバー

には残念ながらチュニジアに  
お越しいただくことが出来ま  
せんでしたが、このような素  
晴らしい文化交流の機会を企  
画し、遠路チュニジアまで御  
一行を派遣いただき、日本と  
チュニジアの関係強化に貢献  
いただきましたことに対し、  
心より感謝申し上げます。畑  
代表には是非一度、改めてチ  
ュニジアを御訪問頂きたい  
と願っております。最後に  
、我が国と世界を結ぶ文化  
外交の担い手として、今後と  
も世界各地において一層御活  
躍されますことを心から祈念  
いたします。



チュニジア首相モハメッド・ガンヌーシ夫妻(中央)と共に、チュニス市立劇場於



チュニス市立劇場正面で、

# 平成18年度文化庁 モロッコ・チュニジア・アル

## 今回の菊の会のマグレブ三ヶ国公演に出席



アルジェリアでの記者会見に臨む原総団長と枝木泰子  
中央右がアルジェリア清水大使、左端に小沢氏

### アッパース・モフセン チュニス市長

『チュニスの市民を代表して菊の会  
の皆様へここから歓迎の意と感謝を  
申し上げたい。大変に歴史のある劇場  
ですが冷房もなく環境的には良くない  
所がありますが、皆様はそのような  
厳しい環境の中なかでいつも笑みをた  
たえ踊っていました。まったく尊敬に  
あたいすることです。午前中の劇場前  
の太鼓などの演奏は全国的に放映さ  
れており、全市民が楽しむことが出来  
ました。公演は時間の経過にしたがい盛  
り上がりました。最後のところはクラ  
イマックスであり、万歳です。カーテ  
ンコールも何度もあり、拍手がやま  
ない状態がつづきました。市長として  
こんなに感動したことはありませんで  
した。感謝です。』  
(モロッコ カサブランカ、トゥーリア・セカット劇場)

### アルジェリア ハリダ・トゥミ文化大臣

『このような民族の伝統を大切に、な  
おかつ芸術的なレベルを高めている  
菊の会公演のすばらしさは予想を超  
えるものがありました。単にアルジェ  
リアだけの公演だけでなく全国の  
アルジェリア人に見てもらいたい  
価値のあるものです。出来るか  
どうか分かりませんが、次回  
には是非に地方の諸都市も含め  
公演ができるものか今から考  
えております。今回のアル  
ジェ公演に心より感謝申しあげ  
ます。』  
(アルジェリア国立劇場)



アルジェリア国立行政学院(ENA)の皆様、清水大使ご夫妻、

### モハメッド・ケバージュ知事

『皆様とお会いできてうれしいです、  
心より歓迎いたします。カサブランカ  
には今このような劇場しかなくて心苦  
しく思っておりますが、次回には立派  
な劇場をカサブランカに建設する予  
定です、そのときには日本の劇場関係  
者のアドバイスなどを頂戴して、レ  
ベルの高い劇場にしたいと思ってい  
ます。』  
(モロッコ ラバト国立モハメッド5世劇場)



アルジェリア(白い丘)から大西洋を眺める



アルジェリア、ハリダ・トゥミ文化大臣(中央)と清水大使(中  
央右)と菊の会代表メンバー

### モロッコ石油鉱山公社総裁 アミナ・ベンカドゥラ女史

『私は京都にもいったことがあり、昔の訪日  
がよみがえり、日本の伝統を尊重する菊の会  
の演技を十分に堪能しました。踊りも素晴  
らしかったのですが、音楽のなかにはど  
こかモロッコの民謡と共通するところ  
があり、懐かしさみたいなものを感じ  
ました。わたくしはラバトの北側  
にあるサリーという街の出身ですが、  
この村は漁業の村です。海に生きる人  
間として共通のテーマがあり、感動  
しました。日本モロッコ協会のメン  
バーとしてさらにモロッコと日本の  
交流を促してゆきたいと思っています。』



# 「菊の会」海外公演

— 観劇ツアー同行記 — (北アフリカ)



舞踊評論家  
西形節子

*Setsuko Nishikata*



会場となったモロッコ、国立モハメッド5世劇場



西形先生(中央左)と友の会メンバー、モロッコ、マラケシュ於

2006年6月18日、成田を発った「菊の会海外公演観劇ツアー」の一行はミラノに一泊、翌19日朝、カサブランカに降り立ちました。

モロッコは、35℃以上の気温なのに大西洋の風が涼しい快適な気候、思いのほか治安も良い平和な国。近代都市カサブランカで旧市街（メディナ）の迷路の様な道や市場、公演する劇場を外から眺めた後、ツアー一行は首都ラバトにまず草鞋を脱ぎました。

6月20日の夜は公演初日です。昼間は市内観光をしてホテルへの帰途、ご一行と別れて国立モハメッド5世劇場を訪れ、折よくリハーサルに間に合いました。数多くの海外公演に馴れている団員のみなさんとはいえ今回は初めて畑代表がご不在の公演、ちょっとばかり気掛かりだったのです。でも

それは杞憂でした。畑代表のよしの節はなくとも囃子・踊りの全員の熱気でカバーした阿波踊り、アンコールに応じて幾通りの振りを考えるなど、原団長を支える佐竹さんらのもとに一致団結した稽古ぶり、永年厳しく鍛えられた畑代表の成果が見事に開花していました。皆さんの笑顔に安心していったんホテルに戻り夕食後、本番の会場に向かいました。経済交流はあっても白紙に近い文化交流、2階は貴賓席もある1600席の劇場の客席が埋まるのか不安でした。

開演前にはほぼ満席、幕が開きました。第一部の古典、女性の艶やかさ、勇壮な獅子の踊りに目を見張る観客の素直な反応、「釣女」がどう理解されるかと思いきや、フランス語の字幕で笑いが漏れる客席にホッとしました。アラビア語のほか小学生からフ

ランス語が普及しているようです。

第二部は冒頭の「祝太鼓」の響きから観客を巻き込み、フィナーレの阿波踊りではスタンディングオベーション、カーテンコールが続いて人々はこの場を立ち去りがたい様子でした。帰りかけに現地の母娘、知恵遅れと思われる20代の娘が分からない言葉で私に感動を伝え、母らしい人が喜びの涙を見せてくれた事が深く印象に残りました。

終了後のレセプション、疲れも見せず元気に現れた団員たち、そして応援団のツアーの方々の顔にも喜びの汗と涙が光っていました。私もその一人、初日が無事に開き次のカサブランカ、チュニス、アルジェの公演の成功を信じてツアー一行は一足先にチュニジアを回って帰国しました。

## \*\*\* KIKUNOKAI NEWS \*\*\*

### 北アフリカへの出発を前に各地で記念公演を開催



北アフリカでも好評を博した左「石橋」 右上「寿菊三番巻」 右下「釣女」

北アフリカへ旅立つ目を目前に控え、各地で記念公演を行いました。6月4日には今回が2度目となる入間市市民会館に於いて、(財)入間市振興公社共催、入間市・入間市教育委員会の後援により開催。当日には入間市長 木下博様が力強いメッセージを寄せてくださいました。続く6月7日にはこの度初めての自主公演として、かめありリリオホールにおいて葛飾区・葛飾区教育委員会後援で開催。在日本アルジェリア大使 シドアリ・ケトランジ閣下ご一家、在日本チュニジア大使 サラハンナン閣下。在日本モロッコ大使館 モハメドシュラク参事官、在日本イラク大使館 ムヒディン・フセイン・アブデュツラ参事官もご出席くださり、ご多忙の中お越し下さった葛飾区区长 青木勇様からは暖かいご挨拶を賜りました。そして6月9日は、千葉県栄町・栄町教育委員会共催により、町を上げて応援して下さった栄町町長 川崎吉則様はご公務での青森から駆けつけてくださり、激励のお言葉を賜りました。各会場共に熱い声援を頂き、公演メンバー一同大きな力を頂いて出発する事が出来ました。このほか沢山の皆様にご支援頂いて、この3会場での公演が無事盛會裡に終了いたしました。ご尽力くださいました関係各位の皆様にご場をお借りいたしまして心から御礼を申し上げます、誠に有難うございました。

## \*\*\* KIKUNOKAI INFORMATION \*\*\*

### 秋のKikunokai公演お知らせ

平成18年度文化庁芸術創造活動重点支援事業  
【日本のおどり～こころの四季～】

- |                         |              |          |
|-------------------------|--------------|----------|
| 9月23日(祝土)               | サンパール荒川      | 2時開演     |
| 24日(日)                  | キラリふじみ       | 1時・5時開演  |
| 第3回ポスター展                |              |          |
| 【全席自由】入場料5000円(当日5500円) |              |          |
| 27日(水)                  | 石川県立音楽堂邦楽ホール | 2時・6時半開演 |
| 28日(木)                  | 富山県教育文化会館    | 2時・6時半開演 |
| 29日(金)                  | こまつ芸術劇場うらら   | 2時開演     |
| 【全席自由】入場料6000円(当日6500円) |              |          |

### 【日本のおどり 京都八瀬研修所公演～錦秋に舞う～】

- |                         |                |             |
|-------------------------|----------------|-------------|
| 10月13日(金)               | 京都菊の会八瀬研修所     | 12時・15時・18時 |
| 14日(土)                  | 素敵な秋の京都へ       | 12時・15時・18時 |
| 15日(日)                  | あなたもいらしてみませんか? | 12時・15時     |
| 【全席自由】入場料4500円(当日5000円) |                |             |

### 【日本のおどり～伝統と創造～】

- |                         |          |           |
|-------------------------|----------|-----------|
| 11月19日(日)               | 日野市民会館   | 1時・5時開演   |
| 23日(祝木)                 | 館林市民会館   | 2時半開演     |
| 24日(金)                  | タワーホール船堀 | 2時半・6時半開演 |
| 28日(火)                  | 町田市民ホール  | 2時半・6時半開演 |
| 30日(木)                  | 浅草公会堂    | 2時半・6時半開演 |
| 【全席自由】入場料5000円(当日5500円) |          |           |

### 〈民音公演〉

- |          |              |       |
|----------|--------------|-------|
| 12月8日(金) | 山梨県立県民文化大ホール | 6時半開演 |
|----------|--------------|-------|

～皆様のお越しを心よりお待ちしております～